

剽窃・盗用チェックツール iThenticate

～意図しない剽窃行為を防ぐために～

営業チーム

ターンイットイン・ジャパン合同会社

研究者にとって努力の結晶である論文発表という局面で、自己剽窃や不適切な出典等の意図しない誤りは、剽窃行為としてみなされる可能性があるため、論文の発表前に意図しない不正行為を未然に防ぐことは重要な意味を持ちます。論文向け剽窃・盗用チェックツールとして数多くの大学・研究機関・学術出版社で活用される iThenticate (アイセンティケイト) についてご紹介いたします。※ご要望に応じて他製品もご紹介いたします。



iThenticate (アイセンティケイト)
～学術論文向け剽窃・盗用チェックツール～

iThenticate は、論文等の原稿を既存の学術データベースと照合、類似性を確認することで、独自性を検証するオンラインツールです。類似性を比較するコンテンツの豊富さ、学術出版社の投稿プロセスで採用される等の信頼性から、国内外数多くの大学や研究機関等で採用されています。

世界最大級・最速級で成長するコンテンツデータベース

Elsevier、Springer Nature、Taylor&Francis、Wiley 等をはじめ、学術出版社約 1,500 社のジャーナル 47,000 誌に掲載されている論文 8,200 万件との類似性を比較できます。また、JST (科学技術振興機構) とのパートナーシップを通じて、JST の JaLC 学術データベースとの類似性を比較できるようになりました。この JaLC 学術データベースには、JST が運営する電子ジャーナルプラットフォーム J-STAGE の学術コンテンツ約 260 万件が含まれます。

学術出版社における投稿プロセスでの採用

国際的な学術出版物の非営利団体 Crossref とのパートナーシップを通じて、同団体に加入する学術出版社 1,300 社における投稿論文のスクリーニングと査読プロセスの基準として、iThenticate は採用されています。



お問い合わせ先
ターンイットイン・ジャパン合同会社
E-mail : japan@turnitin.com